

**造園学特論Ⅱ** (2単位)

担当者氏名 鈴木貢次郎・麻生恵・金子忠一・小林章・鈴木誠・高橋新平・服部勉・濱野周泰・山崎元也  
Murari Suvedi Lin, Qing (林 箒)

## ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

国内外で活躍する造園界の特別講師も交え、身近な庭園・公園から都市・自然環境づくりや、造園政策論など、造園界にかかわるトピック的な話題や課題について、具体的な事例をまじえながら討議を含めた授業を行い、造園学の思想・知識・技術の総合化とは何かを学ぶことを目的とする。

## ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

継続教育 国際化 造園思想 施工技術  
造園企業 造園デザイン 造園作品 造園政策学

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	授業の進め方	配布された資料を十分理解すると共に、教員が提示する課題に対して積極的に整理・考察発言できるように造園関連の刊行物などを、造園情報センターなどを活用して事前・事後の学習・研究に臨むこと
2	造園学研究の特色①	造園・景観計画学分野の手法解析	
3	造園学研究の特色②	緑地・環境デザイン学の手法解析	
4	造園学研究の特色③	造園植物資源学の手法解析	
5	造園学研究の視点①	造園学研究を進展する上で必要な作法	
6	造園学研究の視点②	これからの造園学研究とは	
7	造園学研究の視点③	造園研究の課題と展望	
8	造園家の使命と役割①	造園継続教育の意味と必要性	
9	造園家の使命と役割②	造園に求められる社会的要求	
10	造園家の使命と役割③	現代社会における造園家の新たな役割	
11	造園家の使命と役割③	社会政策と造園事業との関係性	
12	造園の将来像①	造園に求められる社会的資質	
13	造園の将来像②	造園関連事業の実態	
14	造園の将来像③	造園実業界を取り巻く環境	
15	造園の将来像④	現代造園の現状と課題	

## ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

## ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート提出と内容(100%)の評価による

## ◆オフィスアワー

専攻主事・服部 (toms@nodai.ac.jp) 水曜午後 13時から 14時 11号館 5階 ガーデンデザイン研究室  
担当教員の造園科学科担当科目参照

## ◆その他受講上の注意事項

一部集中など日程に関する情報は、は 11 号館大学院掲示板、ポータルなどを通じ連絡するので、各自注意すること。